

守山市

発達支援センターだより

令和元年 9月号

令和元年9月30日発行 守山市発達支援センター
守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内
Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628



進路交流会

8月9日(金)に進路交流会を開催し、48名の参加がありました。

毎年、中学校を卒業されたご本人と保護者の方から、進路決定に至るまでの体験談や現在の生活についてお話を聞かせていただき、支援を必要とするお子さんや保護者の方に進路選択の一助としてもらうことを目的に開催しています。今年度は、高校を卒業後、専門学校に進学された方、就労を目指して就労移行支援事業所を利用されている方と、それぞれの保護者の方の2組からお話を伺いました。



参加者からは「これまでの経験や思いを本人や保護者から直接聞くことができよかった」、「本人の意見や意思を大切に、これからのことを考えていきたい」など感想をいただき、進路を考えるうえで、このような機会の大切さを改めて感じました。

令和元年度 特別支援教育研修会

8月21日(水)に開催しました。

テーマ：「子どもの姿からその背景を考え、支援につなげるために」

講師：竜王町ふれあい相談発達支援センター 所長 少徳 仁氏



今、子どもたちに現れている問題や課題に目を向けるだけでなく、その背景を捉え、支援へつなげていくための視点や見立てについて、先生が経験されてきた事例を通して、ご講演していただきました。

市内各校園や関係機関等より105名の参加があり、参加者からは「子どもの見立てについて様々な視点で探っていくことの大切さを改めて感じた」、「子どもとの関わり方について、より一層考えていきたい」など多くの感想をいただき、有意義な研修会となりました。今後も、支援の現場で役立ててもらえるような研修会や啓発活動に取り組んでいきます。

おしらせ

「発達障害を知ろう」～市民啓発講座を開催します～

テーマ：「でこぼこ発達^{でこぼこ}の凸凹のある人の生きる力を育てる」～ネット時代の子育てを通して～

日時：12月7日(土) 午後1:30から午後4:00時まで(開場 午後1:00)

場所：守山市民ホール 小ホール

講師：滋賀医科大学 小児科学講座(小児発達支援学部門)

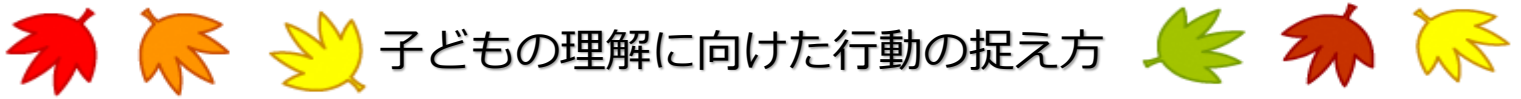
特任准教授 阪上 由子氏

済生会守山市民病院 小児科 医長 上羽 智子氏

対象：関心のある方はどなたでも

※申込み不要
参加費無料
先着300名





子どもの理解に向けた行動の捉え方

今回は子どもの問題となる行動についての支援を考えていく上で、役に立つ視点を紹介します。

普段、子どもと関わっていく中で、繰り返し起こる様々な行動に頭を悩ませることがあると思います。そうした行動への支援を考える上で、子どもがしている行動だけに注目するのではなく、行動の直前（きっかけ）と直後（結果）に視点を向けることで支援を検討しやすくなります。

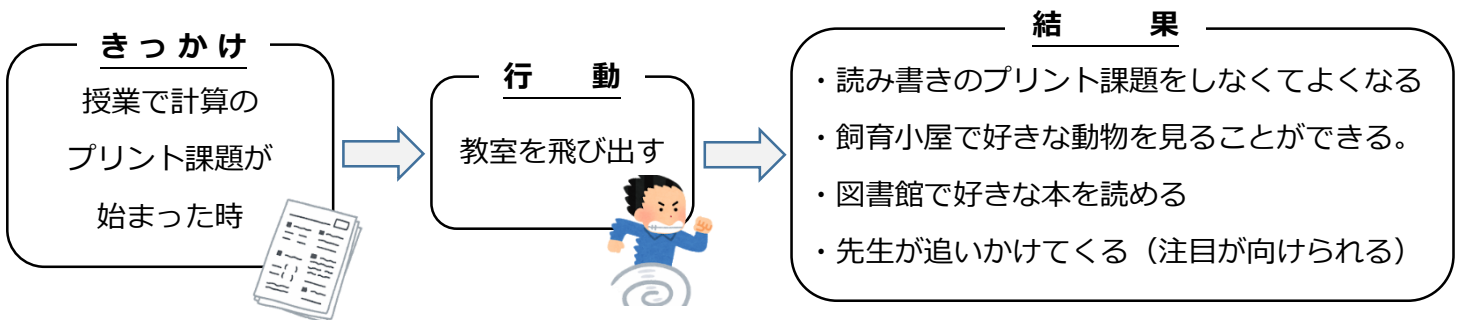
行動のきっかけに注目することで…どんな状況でその行動が起こりやすいのか予測しやすくなる、その行動を起こさなくても済むように事前の準備ができやすくなる等のメリットがあります。

行動の結果に注目することで…子どもが本当はどんなことを望んでいるのか、どうして子どもが何度もその行動をするのか等を考えやすくなる、というようなメリットがあります。

例えば“教室を飛び出す”という行動を繰り返す A くんを例に挙げます。

A くんは、授業で、苦手な算数の計算のプリントの課題が始まると教室から外に飛び出してしまうことが頻繁にあります。教室を飛び出した後、A くんは校庭の飼育小屋をのぞいたり、図書館に逃げ込んで本を読んだりしています。先生が追いかけて教室に戻るように促しても、先生と追いかっこになってしまうため、図書館で落ち着くまで過ごさせています。

→ “教室を飛び出す”という行動だけに注目していると、見えてこないことも…



…と行動の前後について記録をしたり、考えてみることで、A くんが繰り返している行動の流れが見えてきて、行動が起こってしまう状況やその理由が検討しやすくなります。そして、その中で、今とは異なる行動を起しやすくする対応を考えることができます。

では、A くんの場合を考えてみましょう。

※「きっかけ」の部分を・・・

課題の難易度や量を変える、手伝ってほしいサインを決める、好きな内容を取り入れた問題にする



※「結果」の部分が・・・

(課題にとりくめた時などに) 褒められる、好きなキャラクターのシールが手に入る、好きな活動に取り組む時間が取れる。

このような支援で今とは少し異なる行動が起こってくるかもしれません。子どもの行動の前後を変えることで、子どもの行動も変わっていきます。こうした考え方を 応用行動分析 といいます。